

【表紙】	
【提出書類】	大量保有報告書
【根拠条文】	法第27条の23第1項
【提出先】	中国財務局長
【氏名又は名称】	平松裕将
【住所又は本店所在地】	岡山県倉敷市二子1311番地6
【報告義務発生日】	令和2年5月1日
【提出日】	令和2年5月12日
【提出者及び共同保有者の総数（名）】	1
【提出形態】	その他
【変更報告書提出事由】	該当事項はありません

## 第1【発行者に関する事項】

発行者の名称	株式会社ヤマックス
証券コード	5285
上場・店頭の別	上場
上場金融商品取引所	東京証券取引所 ジャスダック市場

## 第2【提出者に関する事項】

### 1【提出者（大量保有者） / 1】

#### (1)【提出者の概要】

##### 【提出者（大量保有者）】

個人・法人の別	個人
氏名又は名称	平松裕将
住所又は本店所在地	岡山県倉敷市二子1311番地6
旧氏名又は名称	
旧住所又は本店所在地	

##### 【個人の場合】

生年月日	昭和49年12月9日
職業	代表取締役会長
勤務先名称	啓和ライン株式会社
勤務先住所	岡山県岡山市南区青江六丁目934番地4

##### 【法人の場合】

設立年月日	
代表者氏名	
代表者役職	
事業内容	

##### 【事務上の連絡先】

事務上の連絡先及び担当者名	平松裕将
電話番号	086-431-8786

#### (2)【保有目的】

当該企業は、HOCヤマックス社の子会社化、ナルックス社との業務委託契約締結、ヤマウ社との業務提携締結など、様々な施策を発表した。コンクリート製品製造販売業界は市場環境が厳しさを増す中、茂森社長は、経営基盤整備、経営の合理化、コスト削減、財務体質強化の経営姿勢を貫く。私は、その方針を高く評価し、全面支持している。今後も更なる優れた経営行動を推し進めて頂く為には、安定株主による経営の賛同が不可欠であると考え、株式を大量に保有した。其の上、株主及び株式市場対応として、配当性向30%以上の株式配当を行う事を求め、大幅な株式分割を行い市場流動性向上を目指す事を求め、株価が一株当たり純資産額以下の場合は株式市場で自社株買いを行う事を求め、株主優待制度を新設し株式市場での認知度向上を目指す事を求める為にも株式を大量に保有した。その他、ステークホルダー共通の利益に適う事が有れば、茂森社長に適宜提言する為に株式を大量に保有した。

(3) 【重要提案行為等】

--

(4) 【上記提出者の保有株券等の内訳】

【保有株券等の数】

	法第27条の23 第3項本文	法第27条の23 第3項第1号	法第27条の23 第3項第2号
株券又は投資証券等(株・口)	58,100		
新株予約権証券又は新投資口予約権証券等 (株・口)	A	-	H
新株予約権付社債券(株)	B	-	I
対象有価証券カバードワラント	C		J
株券預託証券			
株券関連預託証券	D		K
株券信託受益証券			
株券関連信託受益証券	E		L
対象有価証券償還社債	F		M
他社株等転換株券	G		N
合計(株・口)	O 58,100	P	Q
信用取引により譲渡したことにより 控除する株券等の数	R		
共同保有者間で引渡請求権等の権利が 存在するものとして控除する株券等の数	S		
保有株券等の数(総数) (O+P+Q-R-S)	T		58,100
保有潜在株券等の数 (A+B+C+D+E+F+G+H+I+J+K+L+M+N)	U		

【株券等保有割合】

発行済株式等総数(株・口) (令和2年5月1日現在)	V	1,158,000
上記提出者の株券等保有割合(%) (T/(U+V)×100)		5.02
直前の報告書に記載された 株券等保有割合(%)		

(5) 【当該株券等の発行者の発行する株券等に関する最近60日間の取得又は処分の状況】

年月日	株券等の種類	数量	割合	市場内外取引の別	取得又は処分の別	単価
令和2年5月1日	株券(普通)	300	0.03	市場内	取得	

(6) 【当該株券等に関する担保契約等重要な契約】

--

(7) 【保有株券等の取得資金】

【取得資金の内訳】

自己資金額(W)(千円)	111,958,700
借入金額計(X)(千円)	
その他金額計(Y)(千円)	
上記(Y)の内訳	
取得資金合計(千円)(W+X+Y)	111,958,700

【借入金の内訳】

名称(支店名)	業種	代表者氏名	所在地	借入 目的	金額 (千円)

【借入先の名称等】

名称(支店名)	代表者氏名	所在地